

台風被害 支援手厚く

滋賀 杉本県議が知事追及

日本共産党の杉本敏隆滋賀県議は2日の県議会で、台風21号による暴風で家屋に被害を受けた県民への手厚い支援とともに、被害の



質問する杉本議員

11月2日、滋賀県議会

全貌を把握して記録し防災に生かすよう、三日月大造知事に強く求めました。

杉本氏は、今回の被災を機に「廃業を考えざるを得ない」という漁業者の声を紹介。被害を受けたエリ（小型定置網）の復旧や壊れた船の廃船処理、水面占用料の支払いなどの負担に対する支援を求

めました。

三日月知事がミシガン州との姉妹提携50周年記念式典に出席するため、台風直撃の翌5日に渡米したことについて、「被害の全貌も分からない状況で1週間も離れるというのはいかがなものか。県民の命と財産を守ることが第一に県政に当たってほしい」と要望。知事は「しっかりと受け止めて今後の対応等に生かしていきたい」とこたえました。

杉本氏は、社会福祉法人「三穂の園」（岡山県倉敷市）が国・県の補助金を受け、障害者のグループホームと通所施設を近江八幡市内の同じ敷地内に整備する問題を質問。職任分離の原則の見地からこれまで認めてこなかった施設整備の方針を変えたことについて、「県行政が国の圧力でゆがめられた。障害者権利条約の精神に背くことはすべきでない」と追及しました。